O & K VOICE

株式会社オーアンドケー社内報Vol.48

2018年6月号

撮影場所:なばなの里 撮影者:倉知

ソーラーパネル～メリットとデメリット～

東日本大震災以降、住宅の設備の中でも省エネルギー設備等に対する注目が高まっています。

特に太陽光を利用した発電機器については、技術の発展や補助金制度の整備によって住宅への設置が急速に進みつつあります。「太陽光を利用した発電機器あり」の住宅は全国で157万戸となり、5年前と比べて105万戸の増加となりました。普及率で比較すると、5年前の1.0%から3倍の3.0%となっています。住宅の所有の関係別にみると、持ち家で「太陽光を利用した発電機器あり」の住宅は148万戸で持ち家全体の4.6%になります。

■メリット

- ・電気代が安くなる
- ・電気を売れる
- ・停電しても電気がかえる
(発電している時間)

■デメリット

- ・景観が悪くなる
- ・屋根に負担がかかる

■リスク

- ・投資効果が思ったほどではない
- ・ずさんな工事をされる恐れがある
- ・倒産してサービス、保証が受け取れない(出力90%保証など)

太陽光発電、収支シミュレーションの多くは10年間で設置費用を回収し、11年日以降から利益を生む事になっています。10年間は売電価格の補償がありますが、11年日以降の価格は不鮮明です。

パネル自体の耐用年数も実績が無いので、法定耐用年数17年になっています。(メーカー保証20～25年が多いです。)パネルよりもパワーコンディショナー(太陽光発電された「直流」電流を一般家庭で使用できる「交流」電流に変換する機械)が10年持たずに故障するケースもあるようです。

一番のリスクは施工業者の知識、質によるものが大きいと思います。

パネルを屋根に取り付けるために穴をあけるのですが、その処理によっては雨漏りのリスクが大きくなります。屋根は垂木の上に野地板があり、その上に防水シートが貼られ、さらに屋根材がのる構造です。パネルを設置する架台を固定する金具を、屋根の一番下の構造物である垂木と野地板にとめなければなりません。屋根材と防水シートに穴をあける行為が、リスクを高める原因です。適切なコーキング処理(防水加工)が行われていれば問題ありませんが、施工業者との契約に定期的な検査・コーキングの打ち直しが含まれていない場合は危険です。実際に作業を見る事は難しく(屋根上なので)、使用されているコーキング剤の確認も難しいです。コーキングの耐用年数は5～10年、15年以上の物もありますが、使われているコーキングがとても重要です。

雨漏りを発見できるのは被害が進行してしまってから何年も先に気づく事もあるでしょうが、ずさんな工事をする施工会社がその時まで存在しているのでしょうか？たとえパネルメーカー保証が25年あったとしても取り付けに問題があれば余分な出費がでる可能性も、取り付け方法によってはメーカー保証が受けられない場合もあるのです。

太陽光発電を取り扱う販売店はどんどん増え、低価格・補償で受注を取りに行く所も出てきますが、安心はお金で買えません。

2013年度で、国からの導入時の補助金＝太陽光発電導入支援補助金は打ち切りになりました。

これは、太陽光発電の普及を助けるために国が助成していたもので、価格相場の下落に併せて段階的に引き下げられてきたものです。

また、2012年7月からはじめられた全量買取制度の買取単価についても、年々下げられているのが現状です。地方自治体からの導入時の補助金については、自治体によってまちまちですが大きく下がってきています。

太陽光発電を導入するなら、できるだけ早くに導入するほうが経済的なメリットは大きいと思います。ただし、太陽光発電はだれでも導入すれば得するというものではありません。しっかりと調査して、メリットがあるかどうかを調べる必要があります。

売電を考えず電気代節約を目的に導入をするのならば、施工業者をしっかりと選び、早めの導入が良いと思います。

ソーラーパネルはメンテナンスフリーではありません。定期的に点検を行わないと様々なトラブルに見舞われます。パネル下の空間にハトが住み着いてしまい、屋根の汚れ、パネル表面のフン被害による発電効率の低下があります。ハトは一度安全な場所だと認識すると追い払うだけでは対策できません。専門業者によるネット等による防鳥作業を行わなければなりません。

パネルの清掃、
鳥防除その他の
害虫駆除も、是非
当社にご相談下さい!!

野球観戦チケット当選者発表

先月号に掲載しました「中日ドラゴンズ野球観戦チケット」に多くの方からご応募いただきました。
厳正なる抽選の結果、下記の2名様が当選されました。おめでとうございます！！
今回残念ながら当選されなかった方は、次の機会にご期待下さい！

- ・エアポートウォーク Wさん
- ・ベイシア常滑 Tさん

おめでとうございます♪

労災ゼロ委員会

以下の写真を見てください！壁や柱で前が見にくい事がわかります。
仕事中は常に人が飛び出してくるかもしれない事を意識して、一步先の状況を予測しながら進みましょう！

営業1課 藤原

お知らせ

今般、社内システムの変更に伴い、経理・労務の一部業務を社外委託します。
それに伴い、委託業者への締切期日に間に合わないデータは、再入力や修正が出来なくなりました。
従業員・パートの皆さんには、タイムカードや年末調整その他の書類の提出遅延がないよう
よろしく願います。

管理本部

社長の独り言～市町村ごとの平均寿命～

全国の平均寿命は年々伸び続け、2017年のデータでは**男性80.98歳、女性87.14歳**と発表されています。都道府県別1位は、**男性は滋賀81.78歳、女性長野87.67歳**、最下位は共に青森で、**男性78.67歳、女性85.93歳**となっており、**男性3.11歳、女性1.74歳の差**となっています。

これを今年発表された市町村のデータで見ると、**男性は横浜市青葉区83.3歳、女性沖縄県北中城村89.0歳**、最下位は、**男女とも大阪市西成区73.5歳、84.4歳**となっており**男性9.8歳、女性4.6歳の差**となっています。

地域や環境によって大きく寿命に影響を与えている要因はどこにあるのでしょうか？
市町村男性1位の横浜市青葉区を調べてみました。

■健康に関するデータ

- ・男性喫煙率は19.1%で全国の39.3%のおよそ半数(横浜市全体では、32.3%)
- ・飲酒・塩分
- ・肥満度・血圧など健康に関する意識が高い
- ・生活習慣予防に気を付けており健康診断の受診率が高く、三大疾病(癌・心疾患・脳卒中)による死亡率が低い
- ・「毎日歩こうウォーキング青葉」という区内のウォーキングコースを紹介するリーフレットが作成されており、コースは16コースもある
- ・公園数が多い
- ・街中は坂が多く、日常的にアップダウンのある坂道を歩くことが健康に良い
- ・医療機関・有料老人ホームの充実
(病院やケアの行き届いた老人ホームなどが充実していることで長寿に繋がっている)
- ・健康問題に関して行政サービスを利用されている方が多い
- ・健康講座・市民講座・カルチャースクールに参加される方が多い
(参加し、多くのコミュニケーションを取る事が「心の健康」にもいいようで、それも長寿の秘訣になっている)